

☆ ♪ -BOKUTACHI NO YUMENOSE- ♪ 2013.8.16

「発行」  
「みんなで21世紀の  
来をひらく教育のつどい  
2013」  
遠報編集部  
Tel/Fax 052-884-7292



# ぞうれしやな走れ!

教育のつどい2013 in 愛知 遠報NO. 2



# 集まる人、人、人!

# 高校生の群舞



## 権名誠さんのお話

分かりやすく、生き方も素晴らしく、子どもに対してのあったかいまなざしも感じられてよかったです。水の問題もこれから考えていきたいです。助産師としても考えて、命が力強く育つことをサポートしていきたい。  
 (長崎県 50代女性)



ぞうれっしや/うえのたかし 東山動植物



ぞうれっしや  
 出演者さん

息もぴたりと合った。子ども達も  
 元気張りでいて、一つのE作り  
 出来ることになった。みんなが笑顔  
 の人だ。一緒にぞうれっしやE作  
 りたい手はう。

今日2回目で、1回  
 めは1小の時。今回は歌の  
 意味を考証。歌の受け手に  
 伝えて歌えてよかったです。

再来年のレイボホルの  
 公演に向けて、これからの  
 やりかたをい。

教員として伝えられること  
 のある心に響くものがあると  
 思います。

# 記念講演



世界を旅する椎名誠さん

椎名さんの講演は、世界の基準と日本の基準の違いに大きくスポット

を当て、世界の中での日本の位置を気づかせてくれる内容でした。

まず、トイレの話からでした。インドと日本の違いはまず、ウォシュレットのトイレが日本では当たり前になっていることを強調していました。明日行くべきトイレがある人は日本では、当たり前なのにインドでは98%の人が“そこら”でやっていると行っていました。インドのカースト制度にも触れていました。職業選択のない国という部分は、日本人には理解できない部分です。

また、水のきれいな国として日本は特筆できる国でもあります。7割の森林に覆われ、周りには海という条件の中で、急峻な川が3万5千本あるという話です。しかし、高度成長の中で川をいじくってしまい、ダムのない川は四万十川だけになってしまいました。長良川は河口堰を作ってしまったために川が死んでしまいました。

メコン川(4200km)で遊ぶ子どもたちは目がキラキラ輝いていることが特徴でした。女の子は水くみ、男の子は魚取りをして家の手伝いをする。これが当たり前になっています。そこが日

本とは大きく違うところ。自分の子育てからいって、「女の子は賢

くあれ、男の子は健康であれ」ということを言うてきました。日本では夜中に酔っぱらって帰ってきて、女性が一人で帰ってきて安心してできる治安の良さがあります。世界ではとても考えられないことです。

## 講演概要

「地球が100cmの玉だったら」という本を読んで考えさせられたことはこの本で行けば、大気圏は1mmしかない、その中で生きていることをもっと考えるべきだということです。

最後に「死」といことについて多世代の人が考えています。自死する人が3万にいる国です。これは異常なことです。みんながだまされていると思います。大人たちが命がけで子どもたちを守っていくことが大事です。

椎名さんの話はグローバルな視点から日本の現状を見ていました。大きな視野がいつも必要ということを教えてくださいました。



子どもを守れ!

# 参加者の熱気

・うわさの高校生フェスティバルは、健在だなと思いました。みんなで踊る姿が生き生きとしてとてもよかったです。

(兵庫県 60代女性)

・初めて見せていただきました。若さあふれる演技に見ほれてしまいました。

(三重県 50代)

・すばらしい群舞だった。若者は希望だ!と思わせてくれた。特に男子生徒が輝いていた。

(山梨県 60代女性)

## 感想

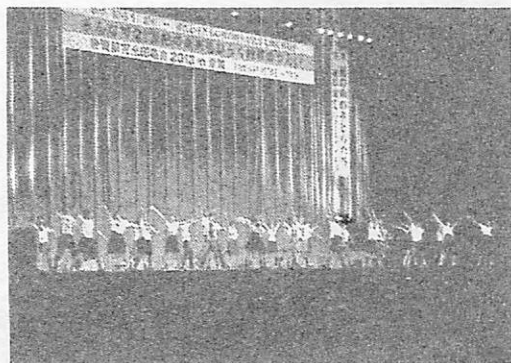


・川の話、回虫、サナダ虫の話、びっくりでした。メコン川に行けば、アトピーで苦しんでいる子が救われるかもという話もびっくりでした。楽しかったです。

(長野県 40代)

・楽しいお話でした。一言一言に重みがあります。ご経験されたことを人に伝えるという作業をしっかりと行われている椎名さん。ありがとうございました。

(神奈川県 30代)



・「すばらしい!!」「すごい!!」の一言です。子どもたちと合唱団の融合、調和、本当に見事でした。(埼玉県 50代男性)

・よかったです。すごい迫力だった。全編しっかり聞きたかったです。いつ聞いても泣けるのです。本当に戦争は、愚かな行為です。

(愛知県)

・戦争を生き抜いたゾウと、守り抜いた園長さんに感動。子どものまっすぐな気持ちですごくよかったです。大人の合唱も美しい。2回の練習とは思えない一体感でした。

(静岡県 50代)

